

2022年3月24日

アルテック株式会社と「ESG 経営支援ローン」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型融資商品である「ESG 経営支援ローン（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループの一員である三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な評価を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の融資商品となります。

本日、アルテック株式会社（代表取締役社長 ^{いけや とししげ} 池谷 壽繁）は、本商品にてシンジケーション方式コミットメントライン契約を締結いたしました。

当社グループは、SDGs の基本方針として、「世界中の優れた商品を提供しモノづくりの支援を通じて社会に貢献する」というビジョンのもと、商社事業およびプリフォーム事業を車の両輪として、SDGs に取り組む企業が抱える課題を解決することでステークホルダーとの絆を深め、持続可能な社会の実現と美しい地球環境の保全に貢献いたします。

今回の ESG 評価の取得をきっかけに更なる取り組みの強化および改善を図ってまいります。

【高く評価を受けた ESG に関する取り組み】

- ✓ SDGs の基本方針を定め、マテリアリティ（重点課題）について分析を行い、当社グループにおける取組領域を特定してウェブサイト上で開示している。また、ESG に関する対外的な情報開示を複数の媒体で行っており、専用のサステナビリティサイトで情報提供を行っているほか、決算短信等において中期経営計画の概要が記載され各注力分野と SDGs との関連が明示されており、また、決算説明資料においても ESG に関する情報提供を行っている。
- ✓ 環境（E）の分野については、近年注目される気候変動指標に関し、当社のエネルギー消費量（電力）を把握し、減少させており、また、同様に、当社グループの CO2 排出量においてもこれを把握し、減少させている。さらに、主力のペットボトル用プリフォームの製造・販売事業においては、PET 樹脂再生システムの導入を進めており、取組内容について WEB サイト上で十分に訴求している。
- ✓ 社会（S）の分野については、ISO 品質・環境の統合マニュアルで企業のマネジメントシステムを PDCA サイクルに基づき構築して効果的な組織管理を行うなかで、本社およびグループ会社においてリスクアセスメントを充実させ、リスクの把握に努めている。また、5S 活動や安全衛生教育の実施を通じて、業務上の障害を防ぐ仕組みを構築し、過去 3 年間において重大な障害は発生していない。

- ✓ ガバナンス（G）の分野については、取締役の選任プロセスにおいて、多様性、独立性、専門知識や経験等を踏まえた選任基準の設定という観点から、スキル・マトリックスを作成の上、取締役会の全体としての知識・経験・能力のバランスを議論し取締役を選任しており、選任基準が定められている。取締役の報酬においては、固定報酬である基本報酬、業績連動報酬（賞与）、株式報酬で構成され経営戦略を踏まえた役員報酬制度が整えられており、また、独立社外取締役が過半数で構成されている指名・報酬諮問委員会が設置され報酬の決定に際しても透明性および客観性が確保されている。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上